

景気観測調査報告 (DI方式)

平成25年12月分(呉集計分)

呉商工会議所

呉市企業の今期の景況は、好調な製造業が牽引し3期連続上昇で大幅に回復している
—消費増税後の消費動向を懸念する声が多く、先行きは慎重な見方続く—

- ・調査方法 郵送によるアンケート調査
- ・調査内容 景況のほか、生産額・売上額など10項目について
- ・平成25年12月を前年同月と比較
- ・平成26年1月～3月の先行き見通しを平成25年12月と比較
- ・調査時期 12月中・下旬
- ・調査対象 呉市内の業種別主力企業101社(回答85社、回収率84%)

・12月の景況を見ると、下の表の通り、総合(全業種)DI(良い-悪い)は $\Delta 9.2 \rightarrow 2.3$ と、全体では前期に比べ、+11.5と大きく上昇。
業種別では、製造業は、約6.8割の企業が横ばいの回答で、DIは $\Delta 10.2 \rightarrow 12.0$ と大幅に回復。
非製造業は、約6.0割の企業が横ばいの回答で、DIは $\Delta 7.9 \rightarrow \Delta 11.4$ と悪化した。

【DI方式について】

DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわし、マイナスの数値は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす。

DI = (増加・好転等「良い」の回答割合) - (減少・悪化等「悪い」の回答割合)

・1～3月の先行き見通しでは、総合(全業種)DIは $\Delta 6.9 \rightarrow \Delta 1.2$ と、今期に比べ+5.7と上昇の推移。
業種別では、製造業は、DIは $\Delta 6.1 \rightarrow 4.0$ と上昇する見通し。
非製造業は、DIは $\Delta 7.9 \rightarrow \Delta 8.5$ と少し下降する見通し。

総合(全業種)では、 $\Delta 9.2 \rightarrow 2.3$ と、呉市の景況は前期に比べ、+11.5と大幅に

上昇傾向。来期は $\Delta 6.9 \rightarrow \Delta 1.2$ と、上昇する見通し。

業種別概況は、製造業は3期連続上昇で、プラスに転じる。一方、非製造業は悪化した。9月調査による10～12月先行き見通しDI数値に比べて、製造業は上昇傾向だが、非製造業は悪化の見通し。

呉市の景況は、製造業は自動車関連を中心に回復傾向となっており、景気回復の実感が浸透しつつあるも、「賃金の上昇」「原材料価格の上昇」など、楽観視できない状況が続く。造船関連は、円高是正に伴い受注は改善されてきたが「人材確保(職員、作業員の高齢化)」「人材確保に不安が残る」など、雇用に関する懸念材料が見られた。一方、建設業が前期に比べ大幅に悪化した影響により、非製造業は下降に推移。

来期の景況については、回復する見通しであるが、消費増税に伴う消費の変動を懸念する声が多く、先行きは慎重な見方が続く。

業種別景況DI

	25年 9月 実績	25年 12月 実績	今期			9月調 10～12月 見通し	12月調 1～3月 見通し	来期		
			回答社数構成比(%)					回答社数構成比(%)		
			好転	横ばい	悪化			好転	横ばい	悪化
総合(全業種)	$\Delta 9.2$	2.3	18.8	64.7	16.5	$\Delta 6.9$	$\Delta 1.2$	15.3	68.2	16.5
製造業	$\Delta 10.2$	12.0	22.0	68.0	10.0	$\Delta 6.1$	4.0	20.0	64.0	16.0
非製造業	$\Delta 7.9$	$\Delta 11.4$	14.3	60.0	25.7	$\Delta 7.9$	$\Delta 8.5$	8.6	74.3	17.1
建設業	12.5	$\Delta 37.5$	25.0	37.5	37.5	$\Delta 12.5$	$\Delta 12.5$	12.5	62.5	25.0
卸売業	$\Delta 13.3$	0.0	13.3	73.3	13.3	$\Delta 6.6$	0.0	13.3	73.3	13.3
小売業	$\Delta 25.0$	$\Delta 40.0$	0.0	60.0	40.0	$\Delta 12.5$	$\Delta 40.0$	0.0	60.0	40.0
サービス業	0.0	$\Delta 14.3$	14.3	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

業種DIの推移

(H23.12～H25.12)

